



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 オーベクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3583 URL <https://www.aubex.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 則義  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 塚越 孝弘 (TEL) 03-6701-3200  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,301	△10.4	139	114.5	145	217.9	96	324.4
2020年3月期第2四半期	2,567	△3.7	64	△72.4	45	△81.5	22	△87.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 97百万円( -%) 2020年3月期第2四半期 △17百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	34.85	—
2020年3月期第2四半期	8.21	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	8,665	4,817	55.6	1,743.18
2020年3月期	8,526	4,765	55.9	1,724.32

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,817百万円 2020年3月期 4,765百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△8.6	170	△22.2	190	△6.2	50	△64.5	18.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,092,623株	2020年3月期	3,092,623株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	329,187株	2020年3月期	328,877株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,763,573株	2020年3月期2Q	2,763,460株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、4月からの新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内外の移動の制限や外出および営業の自粛など、景気の悪化は依然として継続しており非常に厳しい状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループはコロナ対策として在宅勤務の推進や工場内の営業サテライトオフィスの設置、TV会議システムの活用などを推進し、新製品の開発や生産性の向上およびコスト削減に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,301百万円(前年同四半期比10.4%減)、営業利益は139百万円(前年同四半期比114.5%増)、経常利益は145百万円(前年同四半期比217.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は96百万円(前年同四半期比324.4%増)となりました。営業利益率は6.1%となり、前年同四半期比で3.6ポイント増加しました。経常利益率は6.3%となり、前年同四半期比で4.5ポイント増加しました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (テクノ製品事業)

テクノ製品事業は、国内および海外売上が共に低調に推移しましたが、一方で国内外の出張費や宣伝費などの営業コスト削減に加えて、製造費用についてもトータルコスト削減に努めました結果、売上高は1,531百万円(前年同四半期比16.7%減)、セグメント利益(営業利益)は187百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。セグメント利益率は12.2%となり、前年同四半期比で2.9ポイント増加しました。

#### (メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、主力製品のベセルフューザー(薬液注入器)の売上が堅調に推移しました結果、売上高は769百万円(前年同四半期比5.5%増)、セグメント利益(営業利益)は90百万円(前年同四半期比174.5%増)となりました。セグメント利益率は11.7%となり、前年同四半期比で7.2ポイント増加しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ138百万円増加し、8,665百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金104百万円の減少があるものの、現金及び預金249百万円などが増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、3,848百万円となりました。これは主に、その他の流動負債44百万円の減少があるものの、長期借入金95百万円、未払法人税等41百万円などがそれぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、4,817百万円となりました。これは主に、利益剰余金50百万円の増加などによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ237百万円増加し、1,656百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、333百万円の資金の増加(前年同四半期 115百万円の資金の増加)となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益145百万円、減価償却費137百万円、売上債権の減少額105百万円、未払消費税等の増加額66百万円、減少要因としてたな卸資産の増加額124百万円などがあったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、124百万円の資金の減少(前年同四半期 13百万円の資金の減少)となりました。これは主に、減少要因として有形固定資産の取得による支出117百万円などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、27百万円の資金の増加(前年同四半期 75百万円の資金の減少)となりました。これは主に、増加要因として長期借入れによる収入300百万円、減少要因として長期借入金の返済による支出204百万円、配当金の支払額45百万円などがあったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、業績予想の見直しを行った結果、2020年5月12日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2020年11月10日）別途開示しました「特別利益（投資有価証券売却益）及び連結子会社の生産一部停止による特別損失の計上並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,434,362	1,684,211
受取手形及び売掛金	1,261,367	1,156,801
商品及び製品	174,020	165,279
仕掛品	1,336,769	1,454,603
原材料及び貯蔵品	394,025	411,789
その他	203,690	126,725
貸倒引当金	△123	△947
流動資産合計	4,804,112	4,998,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,020,148	3,032,270
減価償却累計額	△1,749,271	△1,794,707
建物及び構築物 (純額)	1,270,877	1,237,562
機械装置及び運搬具	2,926,092	3,014,435
減価償却累計額	△2,471,440	△2,535,865
機械装置及び運搬具 (純額)	454,652	478,570
土地	1,509,554	1,509,554
リース資産	250,539	244,729
減価償却累計額	△117,545	△128,157
リース資産 (純額)	132,993	116,572
建設仮勘定	25,867	15,796
その他	444,099	453,141
減価償却累計額	△403,476	△414,335
その他 (純額)	40,623	38,805
有形固定資産合計	3,434,568	3,396,862
無形固定資産		
特許権	4,677	4,118
リース資産	11,134	9,039
その他	15,181	14,599
無形固定資産合計	30,993	27,757
投資その他の資産		
投資有価証券	103,984	100,182
出資金	210	210
繰延税金資産	64,483	61,185
その他	96,709	92,411
貸倒引当金	△8,535	△11,895
投資その他の資産合計	256,851	242,094
固定資産合計	3,722,414	3,666,714
資産合計	8,526,527	8,665,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	470,474	466,672
1年内返済予定の長期借入金	401,286	403,966
リース債務	42,834	39,122
未払法人税等	14,242	55,833
賞与引当金	85,527	86,649
その他	231,390	186,719
流動負債合計	1,245,754	1,238,963
固定負債		
長期借入金	1,963,302	2,056,534
リース債務	72,018	53,411
再評価に係る繰延税金負債	31,616	31,616
株式給付引当金	90,192	100,442
退職給付に係る負債	357,312	366,306
その他	745	745
固定負債合計	2,515,186	2,609,055
負債合計	3,760,941	3,848,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	518,489	518,489
利益剰余金	2,554,312	2,604,429
自己株式	△214,956	△215,164
株主資本合計	4,797,680	4,847,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,749	39,510
土地再評価差額金	△77,128	△77,128
為替換算調整勘定	2,284	7,189
その他の包括利益累計額合計	△32,094	△30,429
純資産合計	4,765,585	4,817,159
負債純資産合計	8,526,527	8,665,178

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,567,636	2,301,191
売上原価	1,872,248	1,595,168
売上総利益	695,387	706,022
販売費及び一般管理費	630,439	566,684
営業利益	64,948	139,338
営業外収益		
受取利息	73	119
受取配当金	2,022	1,807
雇用調整助成金	—	10,866
その他	4,146	2,099
営業外収益合計	6,242	14,893
営業外費用		
支払利息	7,615	7,444
為替差損	17,028	257
その他	715	835
営業外費用合計	25,359	8,537
経常利益	45,831	145,693
特別損失		
固定資産除却損	197	189
特別損失合計	197	189
税金等調整前四半期純利益	45,633	145,504
法人税、住民税及び事業税	23,865	44,482
法人税等調整額	△927	4,698
法人税等合計	22,937	49,180
四半期純利益	22,695	96,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,695	96,323



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	22,695	96,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,553	△3,238
為替換算調整勘定	△26,483	4,904
その他の包括利益合計	△40,037	1,665
四半期包括利益	△17,341	97,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,341	97,989

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	45,633	145,504
減価償却費	140,579	137,521
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,853	8,994
株式給付引当金の増減額(△は減少)	8,401	10,250
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,188	970
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	4,183
受取利息及び受取配当金	△2,096	△1,927
雇用調整助成金	—	△10,866
支払利息	7,615	7,444
為替差損益(△は益)	7,233	△1,472
有形固定資産除却損	197	189
売上債権の増減額(△は増加)	54,388	105,476
たな卸資産の増減額(△は増加)	△40,395	△124,766
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,114	△4,020
未払消費税等の増減額(△は減少)	49,691	66,981
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,973	△14,207
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△32,689	△10,236
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△4,470	223
小計	228,985	320,242
利息及び配当金の受取額	2,096	1,927
利息の支払額	△7,908	△7,567
雇用調整助成金の受取額	—	10,866
法人税等の支払額	△107,498	—
法人税等の還付額	—	8,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,673	333,665
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12,005	△12,000
定期預金の払戻による収入	72,009	—
有形固定資産の取得による支出	△61,400	△117,066
無形固定資産の取得による支出	△6,272	△605
投資有価証券の取得による支出	△1,056	△836
保険積立金の積立による支出	△1,771	△1,771
敷金の回収による収入	—	58
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△3,115	7,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,613	△124,660
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△202,252	△204,088
配当金の支払額	△46,505	△45,795
リース債務の返済による支出	△25,910	△22,622
自己株式の取得による支出	△366	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,033	27,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,987	1,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,038	237,848
現金及び現金同等物の期首残高	1,373,550	1,418,362
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,394,588	1,656,210

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,837,002	728,764	2,565,767	1,869	2,567,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,156	1,156	14,101	15,257
計	1,837,002	729,921	2,566,923	15,970	2,582,894
セグメント利益	170,428	32,812	203,241	4,843	208,084

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	203,241
「その他」の区分の利益	4,843
全社費用(注)	△143,135
四半期連結損益計算書の営業利益	64,948

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,531,029	768,177	2,299,207	1,983	2,301,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,532	1,532	9,431	10,964
計	1,531,029	769,710	2,300,739	11,415	2,312,155
セグメント利益	187,393	90,082	277,476	573	278,049

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	277,476
「その他」の区分の利益	573
全社費用(注)	△138,711
四半期連結損益計算書の営業利益	139,338

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2020年11月10日開催の取締役会において、連結子会社である天津奥貝庫斯技研有限公司（中国天津市）の生産の一部停止を決議いたしました。

1. 生産一部停止の理由

当社の連結子会社である天津奥貝庫斯技研有限公司（中国天津塘沽海洋高新技术開発区）は2005年10月の設立以来、テクノ製品事業における中国での筆記具用繊維束の生産および筆記具用ペン先やコスメティック用ペン先の研削加工と製品販売を行ってまいりましたが、筆記具用繊維束の生産においては、年々厳しくなる中国の環境規制への対応費用の増大やコロナ禍による需要の回復が見通せず、対象となる筆記具用繊維束製品の収益性低下が避けられないと判断したため、年内で筆記具用繊維束の生産を停止し、筆記具用ペン先やコスメティック用ペン先の研削加工と製品販売に注力することといたしました。

2. 生産一部停止に伴い実施する内容

(1) 人員の削減

2020年12月末までに生産部門の従業員を対象に労働契約の合意解除を進める予定です。それに伴い、退職金等の費用を事業構造改善引当金として計上する予定であります。

(2) 固定資産の減損処理

生産停止により遊休資産となる固定資産について、減損損失を計上する予定であります。

3. 当社グループの業績に与える影響

天津奥貝庫斯技研有限公司は、退職金等の費用として50,000千円を事業構造改善引当金、遊休資産となる固定資産の減損損失として70,000千円、合計120,000千円を2021年3月期第3四半期連結会計期間において、特別損失として計上する予定であります。

また、翌連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

なお、現時点において特別損失の総額および翌連結会計年度の業績に与える影響を合理的に算定しておりますが、実際の損失額は様々な要因により異なる可能性があります。